

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

 コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 潤

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 堀 信幸

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,546	8.4	106	△55.5	117	△54.9	169	16.9
26年3月期第3四半期	4,192	16.6	239	109.9	259	129.2	144	85.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 212百万円 (△6.8%) 26年3月期第3四半期 227百万円 (199.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	37.17	—
26年3月期第3四半期	31.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	8,801		3,385	38.5		744.45
26年3月期	8,456		3,209	38.0		705.77

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,385百万円 26年3月期 3,209百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
27年3月期	—	3.00	—		
27年3月期(予想)				5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	6,050	6.6	132	△53.9	154	△48.0	214	33.0	47.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	4,618,520 株	26年3月期	4,618,520 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	70,912 株	26年3月期	70,900 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	4,547,619 株	26年3月期3Q	4,547,684 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。  
なお、上記予想値に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は個人消費が牽引し引き続き拡大傾向にありますが、欧州及び中国においては経済成長率の伸びに弱い動きがみられる状況となっております。日本経済においては、国内景気は消費税率引き上げ後の落ち込みから持ち直してきているものの、物価上昇によって実質所得が低下している状況が続いており、先行き不透明な状況であります。

このような中、当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、平成26年4月からスタートした新中期三カ年計画を「V-1計画」と位置付け、「技術革新を基盤に新しい価値を創造し続ける企業となる」をコンセプトに、重点事業領域を自動車・医療・ライフサイエンスの3つとし、各事業分野で事業基盤の整備と強化、収益の柱となる主力製品の受注拡大、当社技術を活かした新製品の創造を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は45億4千6百万円（前年同四半期比8.4%増）となり、利益面では、役員退職慰労引当金繰入額の計上、売上高の製品構成に変動があったこと等から、連結営業利益は1億6百万円（前年同四半期比55.5%減）、連結経常利益は1億1千7百万円（前年同四半期比54.9%減）とそれぞれ前年同四半期比減益となり、連結四半期純利益は受取保険金の計上等により1億6千9百万円（前年同四半期比16.9%増）と増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品の海外向けの受注が引き続き好調に推移いたしました。また、スイッチ用ゴム製品等の自動車関連製品の受注が海外向けを中心に増加しました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は36億6千7百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。またセグメント利益は3億6千万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

#### 医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、プレフィルドシリンジ用ガスケット及び採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が堅調に推移いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は8億7千9百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。また、セグメント利益は5千6百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて3億4千4百万円増加し、88億1百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて1億6千8百万円増加し、54億1千6百万円となりました。その主な要因は、借入金の増加、退任取締役に対する役員退職慰労引当金の積み増しによる増加であります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1億7千5百万円増加し、33億8千5百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に「業績予想の修正、役員退職慰労金贈呈及び特別利益の計上に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,072,245	2,133,550
受取手形及び売掛金	1,532,309	1,734,491
電子記録債権	88,001	97,925
商品及び製品	124,650	174,090
仕掛品	244,693	225,205
原材料及び貯蔵品	121,703	115,976
その他	95,839	237,223
貸倒引当金	△3,119	△1,722
流動資産合計	4,276,325	4,716,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,224,080	1,150,221
機械装置及び運搬具(純額)	1,122,903	1,122,612
土地	887,802	887,802
その他(純額)	139,648	146,700
有形固定資産合計	3,374,434	3,307,336
無形固定資産	10,491	9,998
投資その他の資産		
その他	799,139	771,148
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	795,717	767,726
固定資産合計	4,180,643	4,085,062
資産合計	8,456,968	8,801,804
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,023,940	1,013,871
1年内返済予定の長期借入金	1,017,022	1,058,293
未払法人税等	87,453	86,394
役員退職慰労引当金	-	256,953
その他	633,522	417,489
流動負債合計	2,761,938	2,833,002
固定負債		
長期借入金	1,761,263	1,936,710
役員退職慰労引当金	223,307	119,646
退職給付に係る負債	474,792	506,925
その他	26,112	20,065
固定負債合計	2,485,474	2,583,346
負債合計	5,247,413	5,416,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	2,122,928	2,255,592
自己株式	△45,705	△45,739
株主資本合計	3,052,062	3,184,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,309	127,297
為替換算調整勘定	76,183	73,465
その他の包括利益累計額合計	157,492	200,762
純資産合計	3,209,554	3,385,455
負債純資産合計	8,456,968	8,801,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,192,611	4,546,811
売上原価	3,050,580	3,394,468
売上総利益	1,142,030	1,152,342
販売費及び一般管理費	902,549	1,045,879
営業利益	239,480	106,463
営業外収益		
受取利息	950	1,094
受取配当金	4,562	5,756
為替差益	15,532	5,659
補助金収入	16,238	6,327
雑収入	8,336	8,775
営業外収益合計	45,620	27,613
営業外費用		
支払利息	16,580	13,880
開業費償却	5,713	—
雑支出	2,847	2,961
営業外費用合計	25,141	16,842
経常利益	259,959	117,234
特別利益		
固定資産売却益	33	—
補助金収入	—	58,466
受取保険金	—	114,891
特別利益合計	33	173,357
特別損失		
固定資産除却損	25,224	11,932
固定資産圧縮損	—	56,674
減損損失	21,808	—
その他	32	—
特別損失合計	47,064	68,607
税金等調整前四半期純利益	212,928	221,984
法人税等	68,290	52,939
少数株主損益調整前四半期純利益	144,638	169,044
四半期純利益	144,638	169,044

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	144,638	169,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,624	45,988
為替換算調整勘定	48,434	△2,717
その他の包括利益合計	83,059	43,270
四半期包括利益	227,697	212,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227,697	212,315



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,333,507	859,103	4,192,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,333,507	859,103	4,192,611
セグメント利益	363,570	50,324	413,895

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	413,895
全社費用(注)	△174,414
四半期連結損益計算書の営業利益	239,480

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業用ゴム事業」セグメントにおいて、遊休資産等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、21,808千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,667,510	879,301	4,546,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,667,510	879,301	4,546,811
セグメント利益	360,496	56,506	417,002

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	417,002
全社費用(注)	△310,539
四半期連結損益計算書の営業利益	106,463

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。